

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 122	提案機関名 環境農政局 水・緑部 水産課
要望問題名 東京湾底びき網漁業の不漁対策に係る研究強化	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 東京湾の底びき網漁業は漁獲の主対象となるシャコやマコガレイの極端な不漁により厳しい経営を強いられている。現在、水産技術センターでは不漁となった原因と有効な資源回復手法について研究しているが、より効率的に早急な対策を打ち出すため、類似の課題に取り組んでいる千葉県、東京都、独立行政法人国立環境研究所等と役割分担を行うなど共同研究を強化することを要望する。 また、資源減少に影響を与えている一因として夏場の貧酸素水塊の発生が考えられる。貧酸素水塊は海底の堆積汚泥に起因し、夏期に湾奥～湾中部の広い海域に発生し、魚介類の幼生の成長や生き残りを妨げることから、底質改善の有効手法を確立することが求められている。 このことから、稚魚育成海域における底質改善試験（県の担当する部分はアマモ場造成、覆砂、二枚貝の放流など）を国土技術政策総合研究所、港湾管理者等と共同研究により取り組むことを要望する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	要望の類似課題に取り組んでいる関係機関等とはまずは連携に向けて取り組めるよう努力します。 底質改善試験の事業化の動向に合わせ、必要に応じ要望にある機関との連携の仕方について検討します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			